

## 大和北道路地下水モニタリング検討委員会 設立趣旨

京奈和自動車道は、大和平野を南北に縦貫し、京都市と和歌山市を結ぶ高規格幹線道路であり、高速自動車国道及び主要国道等を連携することにより、広域的なネットワークを形成し、地域間の連携強化を図るとともに、国道24号の渋滞緩和、交通事故の減少等に寄与する重要な道路である。

「大和北道路」については、平成18年2月に「近畿地区幹線道路協議会課題別会議大和北道路に関する会議」において選定されたルートや構造案に基づき都市計画および環境影響評価の手続きを進めているところである。

なお、奈良県北部地域には、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとするきわめて重要な文化財が数多く存在しており、これまでの検討では道路建設による地下水位変動は季節変動に比べ小さいことが明らかにされているが、さらに、文化財の保全等の観点より、地下水の状況を把握し、適切なモニタリング方針を定めるため検討委員会を設置するものである。